



生活の党
衆議院議員

玉城デニーPRESS

People's Life First (vol. 10)



◆みやぎひろし沖縄市議会議員(1期)の公認を決定しました！



2010年の沖縄市議会議員選挙で初当選を果たし、これまで一期4年間、生活の党所属の議員として活動してきました「みやぎひろし」議員が、8月31日告示・9月7日投票で予定されている市議会議員選挙において「生活の党公認予定候補者」として、このたび決定致しました。

持ち前のフットワークと体力を生かし、「市民と同じ気持ちで・市民と同じ目線の高さで」を掲げて、市民相談から議会における行政事業のチェックなど、日々奮闘している「みやぎひろし」議員の活動に対して、市民からの評価も高いものであることを、私も日ごろの自己の活動を通して実感いたします。市民からの信頼にさらにしっかり応えるべく、日々精進まい進してともに頑張っています。

衆議院議員 玉城デニー 談

◆選考委員会、翁長市長へ出馬を要請

今年1月25日に発足した、生活の党を含む知事選挙候補者選考委員会はこれまで県民の意見を集約する協議を重ね、7月26日の第15回選考委員会において、翁長雄志（おながたけし）那覇市長を知事選挙に擁立する事を決定しました。その事を踏まえ、8月11日那覇市内にて翁長氏に直接知事選挙への出馬要請を行いました。

昨年、県選出自民国会議員と自民党県連が政府・自民党本部からの圧力に屈し、方針変換をして辺野古容認へと移行した事で沖縄県民の誇りと尊厳をいたく傷つけたこと、さらに、仲井眞知事が12月末に辺野古埋め立てを承認し、多くの県民の失望と不信、怒りを招いていることに大きな争点があることは必至です。

11月に行われる知事選挙は、県内全市町村長、議長、県議会議長が示した、オール沖縄の「建白書」の理念を堅持する知事が求められる選挙であり、公約を果たす知事を選ぶ選挙です。「建白書」の理念を堅持し、人格、識見、実績があり、何より沖縄のアイデンティティーを大切に翁長雄志氏こそ、最も沖縄県知事にふさわしい人物である旨の結論を得て、このたびの出馬要請となった次第です。

要請に対し翁長氏は、「沖縄の現在の政治状況は、保守とか革新とか言っている状況ではない。未来の沖縄を構築していく大事な時期であり、皆さんと心をひとつにして、戦う気持ちが大きくなった。」と述べ、出馬の決意を胸の中で固めているかの様子でありました。

沖縄の誇りを取り戻し、夢と希望の持てる沖縄を実現する為に、力を合わせて頑張りましょう。



★生活の党 沖縄県総支部連合会では、年間を通して党员・サポーター及びボランティアを募集しています！

～このプレスの配信停止やご意見などございましたら、ご連絡をお願い致します～

平成 26 年 8 月 12 日発行：衆議院議員 玉城デニー事務所（担当：玉城）

TEL.098-929-2416 FAX.098-929-2005